

CORUM
① アドミラル レジェンド42

'80年代に日本で大ヒットした“ガンブルー”ベゼルのアドミラルが日本限定で復活。現代に蘇ったガンブルーに搭載するのはスモールセコンドタイプのCal.CO395。ケースサイズは大きくすぎず小さすぎない42mm。次のモテ時計の有力候補。SS。自動巻。新品。62万6400円

CORUM
② アドミラル レジェンド38

男女兼用で使えるユニセックスサイズ(38mm)。上品なホワイトシェルダイヤルの上でアドミラルのアイコンである国際海洋信号旗のインデックスがはためくようなキレイな腕時計。クォーツムーブメントなので毎日の時刻合わせの必要がないのが便利。SS。クォーツ。新品。33万4800円

CORUM
③ アドミラル レジェンド32

K18ベゼルでフチ取られたようなフェイスは白蝶貝のダイヤルとレットパズルのインデックス。ベルトも明るいレッドのレザーで、全体的に華やかな印象。エレガントさも申し分なく、フォーマルなシーンなどにも似合いそうだ。ユニセックス。32mm。世界限定100本。K18RG×SS。クォーツ。新品。41万0400円



コルムの魅力を語るのは……
ハナジマ 川合勝城 さん

コルムは実に独特という個性的ですね。新しい事にもどんどんチャレンジしながら「初見からカッコいい」というところはずっとブレない。だからアドミラルでもバブルでも結構ですから、女性にモテたいならコルムは1本持っていないといけない腕時計だと思います。



CORUM
アドミラル レジェンド42 クロノグラフ

ベゼル、インダイヤルのフレーム、リュースやプッシュボタンをローズゴールドで統一。ベルトはつややかなブラッククロコ。ブラックダイヤルに国際海洋信号旗のインデックスが浮き上がるように並ぶ。こんなエレガントな雰囲気もアドミラルの個性。K18RG×SS。自動巻。新品。167万4000円



必見!! 時計販売員による一押しブランド対談バトル コルム×モーリス・ラクロア どっちが“買い”か徹底検証

CORUM
バブル スケルトン

バブルは2000年からの人気シリーズ。11mmもあるサファイアクリスタルを削り出し、ふっくらとした風防が特徴。ブルーで蒸着加工した構造材の奥ではコルムの息つくようなムーブメントが時を刻み続ける。ブルーのラバーストラップ。ケース径は47mm。SS。自動巻。新品。100万4400円



CORUM
アドミラル レジェンド47クロノグラフ スケルトン

47mmの大型チタンケース。インデックスはアドミラルのアイコンでもある色とりどりの国際海洋信号旗。3時位置には30分積算と12時間積算を同軸で表示するインダイヤルを備えている。伝統のアドミラルの最新進化バージョン。Ti。自動巻。新品。151万2000円

伝統的なスイスの時計業界に風穴を開けるがごとく快進撃を続けるコルムに対して、自社ブランドでファーストモデルを発表するまでに十数年をかけたモーリス・ラクロア。ともに「本当にいい時計とは何か」を問い続け、意欲的な腕時計を作り続けてきたブランドだ。ここでは腕時計販売員のベテランスタッフと若手スタッフによって行われたこの2ブランドの「一押しブランド対談バトル」を紹介しよう。あなたもオーディエンスとしてこのセレモニー、覗いてみませんか？そしてこの春、ハナジマで行われる2ブランドのフェア情報も紹介したい

花鳥 / もう大満足です。モーリス・ラクロアのルックスはあくまでオーソドックスです。だから仕事でのスーツ姿でも、休みの日のカジュアルな服装でも1本で使い回せます。コルム

川合 / 今はローンも進歩しているからね。私が20代だったころと違って、若い人でもあんまりムリなく100万円オーバーの腕時計が買えるからね。実際に憧れの腕時計を手に入れてみて満足した？

花鳥 / 正直なところかなり予算オーバーだっただけで、仕事で毎日見ているうちに絶対に欲しくなっちゃったんです。クロノタイプとスクエアの歯車がしっかりかみ合っている……しかも飾りじゃなく、この歯車たちもムーブメントの一部として機能しているんです。限定モデルだから、お金が貯まるまで待っていたら売切れてしまうかもしれないので焦って買ってしまった。

川合 / 今日……「って言うけれど、実際にモーリス・ラクロアのファンでしょう。マスタピース スクエアホイールを購入しているくらいだから。

花鳥 / 正直なところかなり予算オーバーだっただけで、仕事で毎日見ているうちに絶対に欲しくなっちゃったんです。クロノタイプとスクエアの歯車がしっかりかみ合っている……しかも飾りじゃなく、この歯車たちもムーブメントの一部として機能しているんです。限定モデルだから、お金が貯まるまで待っていたら売切れてしまうかもしれないので焦って買ってしまった。

花鳥 / かっこよさを極めるには確かな技術力が必要なんです。見た目だけでは信頼されませんから。コルムの魅力は認めます。でも今日は申し訳ありませんが、ボクはモーリス・ラクロア押しなんです。

川合 / 本物の鳥の羽根だもんね。そういえばボールペン・ブリッジもキレイでカッコいいよ。ムーブメントも針もバゲット型にまとめて、ガラスケースの中に浮いているように魅せる。アドミラルが賑やかな腕時計としたら、ゴールデンブリッジは究極のシンプル美。しかもバケット型の自動巻ムーブメントまで造ってしまっている。

花鳥 / フェザーウォッチもかなり個性的でキレイな腕時計ですよ。

川合 / かっこよさがわかりやすいんだよね。「モテ時計」って言うならいいかな。コルムってアドミラルだけじゃなくて、とにかくかっこよさを追求しているブランドでね。たとえばコインウォッチ・シリーズは本物の金貨をそのまま2枚に切り分けて、ムーブメントを挟みこんだ腕時計だからね。ダイヤルが金貨の表面でバックケースは金貨の裏面なんて斬新すぎて驚かされたよ。ダイヤルは自由にデザインして、インデックスをベゼルに刻み込んだロムルスなんてシリーズもあったな。

花鳥 / 派手な腕時計が多い中、今でもアドミラルは12画デザインに国際海洋信号旗のインデックスはいい意味で目立ちます。他にないデザインだからボクが見ても新しい感じがしますね。

川合 / 日本限定で復活したガンブルーが流行のきっかけだったのかもしれないけれど、それまでの腕時計とはデザインも雰囲気もぜんぜん違うんだ。とても新しさを感じたよね。当時は「下レンヂ」なんて言われていたけれど、流行に敏感な人や芸能人、文化人などがコルムのアドミラルズカップ(現アドミラル)を好んでしていたんだ。

ハナジマ / 川合勝城さん(以降敬称など略) / 川合 / 1980年代にコルムが日本でトレンドになったこと……なんて知らないよ。ハナジマ / 花鳥さん(以降敬称など略) / 花鳥 / ぜんぜん知りません。まだボクは生まれていませんよ。でも父がずっとコルムの腕時計を愛用していましたから、ステキな腕時計だっことは理解しています。

感性に直接響くようなコルムの腕時計造り

